交通にカードの利用実態と その意識に関する研究

福岡大学工学部社会デザイン工学科 辰巳浩,堤香代子,松浦宏明,渡邊譲治

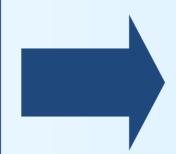
近年、福岡県ではモータリゼーションの進展によりバスや電車 等の公共交通利用者が減少

背

商業でも郊外型ショッピングセンターの増加により人の流れが 郊外に流れる傾向が見られる

ICカードを導入し、公共交通の効率性・利便性向上と、都心エリアの 商業地としての価値を向上させることが重要

公共交通の利用者、都心エリアでの買い物客の増加が期待できる



目 的

2010年3月、西鉄のnimoca、JR九州のSUGOCA、福岡市営地 下鉄のはやかけん、JR東日本のSuicaの相互利用開始

鉄道やバス乗降時、買い物での利便性向上

ICカード導入の効果に関する分析が未だ行われていない

アンケート調査を行い、ICカードの利用意識を把握と 利用促進方策について検討を行う

アンケート調査の概要

日時:2010年10月27日(水) 8時~18時

配付場所:西鉄福岡駅ラッチ周辺 博多駅交通センター1階

配付回収方法:調査員による配布、 郵送回収

配付枚数:各1500枚

回収状況

配付場所	有効回収枚数(枚)	回収率(%)
西鉄福岡駅ラッチ周辺	498	33.2
博多駅交通センター	467	31.1
合計	965	32.2

ICカードの所有状況	回答人数(人)	率(%)
所有	836	86.6
未所有	129	13.4
合計	965	100.0

福岡県内の交通にカード



■はやかけん(福岡市交通局)



SUGOCA (JR九州)

Suica (JR東日本)

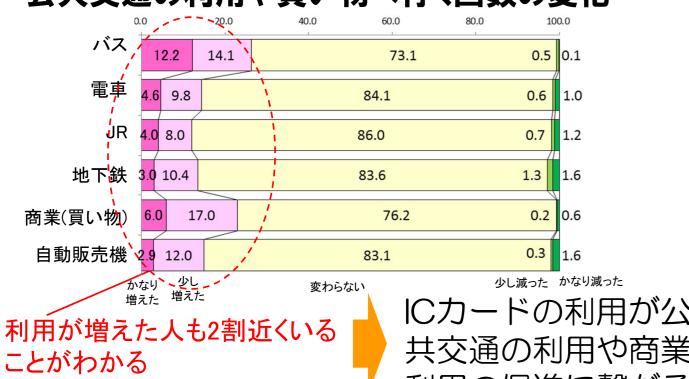
SUGDER



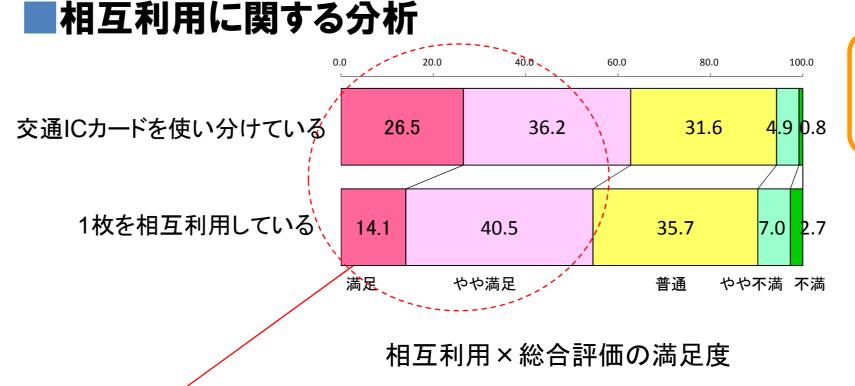
2010年3月から相互利用開始

交通ICカード所有者に関する分析

■ICカードを利用するようになってからの 公共交通の利用や買い物へ行く回数の変化



ICカードの利用が公 共交通の利用や商業 利用の促進に繋がる



ICカードを使い分けている人よりも相互利用している人の ほうがICカードに対する満足度が高い

1ICカードを使い分けている理由 74人 使用する定期券等が1枚の カードに搭載できないため 鉄道やバスのポイントをそれ 68 ぞれ貯めるため 59 その他 24 商業ポイントを貯めるため 1枚で相互利用出来ること 20 を知らなかった

定期券を1枚に搭載できるようにし、さらに ポイントも1枚のカードに付くようにする

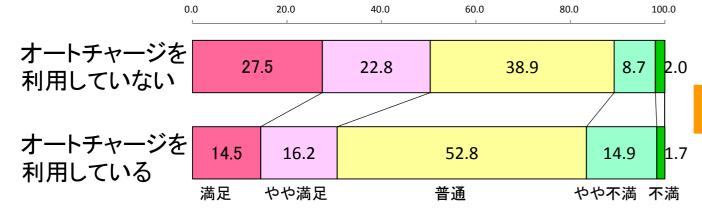
■満足度の低い項目への対策

1ポイントの付き方 西鉄電車・JR・地下鉄も同様に、理解 度が高いほど満足度も高くなっている バス乗降時の 17.5 15.02 30.0 65.3 利便性 理解している 14.9 18.7 30.6 17.2 駅の自動改札 65.3 13.0 0.3 18.4 の利便性 やや理解している 8.1 16.7 46.2 19.4 9.7 ポイントの 8.4 12.2 48.2 18.7 付き方 どちらでもない **6.3**12.5 56.3 16.7 8.3 チャージ方法 あまり理解して いない 5 17.5 49.3 13.1 53.9 19.4 12. 交通ICカードの .51.5 理解していない 35.9 32.4 20.0 14.8 総合評価

普通 やや不満 不満

ポイントサービスの理 解度が高くなるほど満 足度も高くなっている ため、理解度向上のた めの広報活動を行う必 要がある

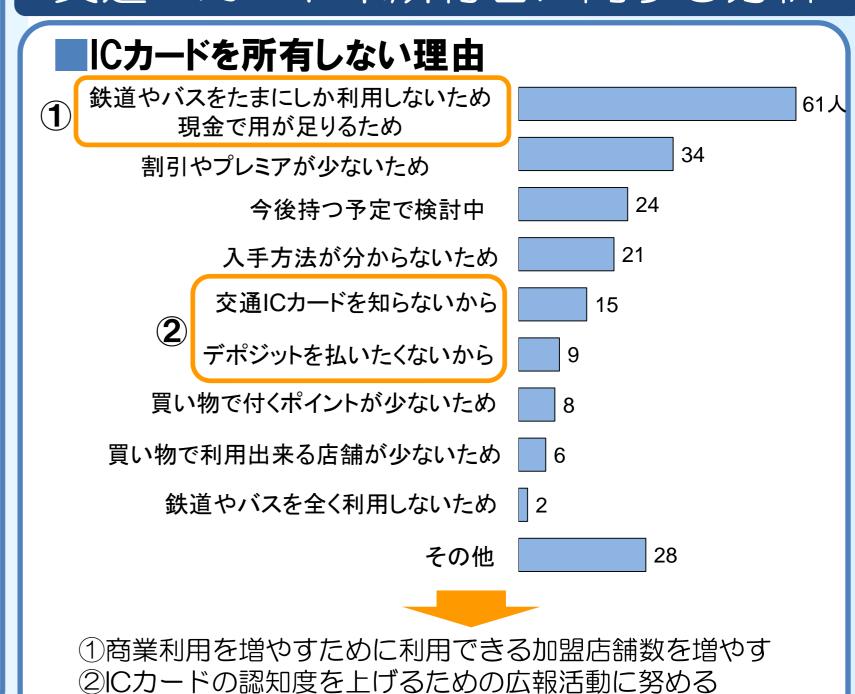
②チャージ方法の満足度



オートチャージを利用している人 のほうがチャージ方法の満足度が 高いため、オートチャージの利用 <u>を促進</u>がチャージの満足度の向上 に繋がると考えられる

オートチャージの利用状況とチャージ方法の満足度の関係

交通ICカード未所有者に関する分析



まとめ

②「入手方法がわからない」

③「交通ICカードを知らない」

交通ICカード利用者の不満点

- ①「ポイントが少ない」
- ②「チャージするのが面倒」
- ③「定期券を1枚に搭載できない」

③3種類の定期券を1枚に搭載する

- ①交通ポイントの理解度向上のための広報活動 ②オートチャージ利用促進

普通 やや不満 不満

西鉄バスのポイントシステムの理解度と

満足度の関係

①鉄道やバスの利用以外に商業施設での利用を 促進するために、加盟店舗を増やす

未所有者がICカードを所有しない理由

(1)「たまにしかバスや電車を利用しない」

23広報活動



